

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュしんでん		
○保護者評価実施期間	2026年 6月 1日 ～ 2026年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 6月 1日 ～ 2026年 6月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方に事業所の支援を満足していただいていることです。	送迎時やご希望があった際にお話をする時間を設け、ご家庭の思いやお子さまの希望を聞きながら支援内容を考えています。	これからも保護者の方やお子さまとの話を大切にし、必要な支援と一緒に考えていきます。また、情報提供やアンケートなども活用し、より良いサービスにつなげていきます。
2	安心して通える環境を整えていることです。	年齢や課題に合わせてグループを分け、担当職員が一人ひとりの特徴を理解できるよう取り組んでいます	お子さまが自分の気持ちを伝えやすい環境づくりを進め、分かりやすい声かけや、一人ひとりに合った関わりを工夫していきます。
3	保護者の方と都度情報共有を行い、適切な支援の実施に努めていることです。	保護者の方と日頃から連絡を取り合い、ご家庭や学校での様子を共有しながら、お子さまに合った支援を行っています。	今後も保護者の方との連携を大切にし、お子さまに合った支援を続けます。さらに、相談支援事業所などとも協力しながら、より幅広い支援につなげていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ないことです。	保護者会や父母の会など、保護者やきょうだい同士が交流できる機会が十分に設けられていません。法人変更後、そのような場づくりが進められていなかったことも理由の一つです。	保護者同士が気軽に交流できる会や、子育てに役立つ内容を取り入れた企画、進路や将来について情報交換ができる機会を増やしていきます。
2	地域とのつながりが少ないことです。	地域のイベントには参加していますが、地域の子どもや住民との交流はまだ少ない状況です。	他事業所との交流を広げるほか、子ども食堂や地域行事への参加、地域の方と交流できるイベントなどを企画し、つながりを深めていきます。
3	保護者にとって、職員体制がやや不明瞭なことです。	職員配置については説明書でお知らせしていますが、日々の体制を十分にお伝えできていません。	職員配置については説明書でお知らせしていますが、日々の体制を十分にお伝えできていません。見学や日頃の情報発信を通して、職員体制や事業所の様子を分かりやすくお伝えし、安心して利用していただく